

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆ 経常黒字最大の34.5兆円 25年度、半導体輸出拡大で5年ぶり貿易黒字

・財務省が発表した2025年度の国際収支統計(速報)によると、海外とのモノやサービス、投資の取引状況を表す経常収支は34兆5218億円の黒字。黒字額は前年度から15.0%増え、3年連続で過去最大。半導体などの輸出が伸び、貿易収支が5年ぶりに黒字に転じたことが寄与。25年度の貿易収支は1兆3631億円の黒字。24年度は3兆309億円の赤字。

◆ 4月の企業倒産、12年ぶり高水準 コスト高で建設業苦境に

・東京商工リサーチが発表した4月の企業倒産(負債1000万円以上)は前年同月比7%増の883件。4月としては12年ぶりの高水準。物価や人件費の高騰でコストが膨らみ、資金繰りが悪化する企業が建設業などで増加。倒産件数は4月として5年連続で前年を上回った。倒産の中心は中小・零細企業で従業員10人未満の倒産が799件と全体の9割。

◆ 長期金利、一時29年ぶり2.6% 米金利上昇が波及

・国内債券市場で長期金利の指標となる新発10年物国債利回りが一時、2.6%に上昇(債券価格は下落)した。1997年5月以来およそ29年ぶりの高さになった。原油高によるインフレや財政悪化への懸念から債券の売り圧力が強まっている。米国で利下げ観測が後退し、米金利が上昇したことも国内の金利上昇に波及している。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆ 塗装工事業の1～4月倒産、48件と急増 商工リサーチ調べ

・東京商工リサーチは1～4月の塗装工事業の倒産が前年同期比26%増の48件だったと発表。統計を取り始めた1989年以降では過去4番目の高水準。活発な住宅需要もあり、2025年の主要な塗装工事業6095社の業績は売上高が1兆4068億円(前年比105%)、最終利益も486億円(117%)と好調だった一方で倒産件数は29%増の138件まで膨れ上がる。

◆ 伸銅品生産、25年度4.2%増 2年連続プラス 自動車や半導体けん引

・日本伸銅協会がまとめた2025年度の前産量(速報)は前年度比4.2%増の66万8119トン。前年度を上回るのは2年連続。全14品目のうち9品目で前年度を上回った。自動車や半導体向けに使われる製品の引き合いが強かった。住設機器などに使う黄銅棒は1.1%増。国内の新規住宅着工の低迷が続いたものの、リフォーム向けの製品需要が好調。

◆ ダイキン株価、一時5%高 自社株買い3500億円を好感

・13日の東京株式市場でダイキン工業株が一時前日比5.4%(1325円)高の2万5435円をつけた。年初来高値を更新し、2023年8月以来の高値となった。12日の取引終了後に自己株式を除く発行済み株式総数の約5%分に当たる3500億円の自社株買いを発表したことなどを好感した。

《 注目商品 》

■ LIXIL「Noct(ノクト)」 「Shiera(シエラ)」家具のように空間に調和するキッチン

・「Reラックスキッチン」として心地よい居場所を提供。意匠性と耐久性を兼ね備えた新素材ワークトップ「リテックストップ」を導入。シンプルなスクエア型のシンクと組み合わせ、継ぎ目を丁寧に仕上げることでシームレスなデザインを実現。



■ リンナイ、シニアのガス火調理をサポート

・ガス火調理の不安を解消するため、認知症当事者や介助者の声を取り入れて開発された「SAFULL+」シリーズに、ガステーブルコンロを追加。聞き取りやすい音声ガイドと大型ごたくを採用。鍋を置きやすくし、バーナーに触れるリスクを軽減。



■ ホシザキ 製氷機 屋外用冷蔵庫・冷凍庫

・給排水設備不要の製氷機、屋根のない屋外に設置可能な屋外用冷蔵庫・冷凍庫の2製品を新たに開発。6月下旬より順次、発売。熱中症対策や物流問題などの社会課題の解決に貢献。地球温暖化影響の小さい自然冷媒を採用。

